

トランプ米国新大統領就任について

トランプ大統領が導く米国の発展が、世界経済により良い影響をもたらすことを期待したい。

米国は日本にとって、政治、経済、防衛など全ての面で最も重要な相手国であるのは言うまでもなく、トランプ大統領には日米の良好な関係を続けていただきたい。就任演説では、雇用の取り戻し、軍事力の立て直し、厳しい国境管理への取り組みなど、トランプ政権の方向性は示したものの、政策の実現性や効果、日本への影響など、依然として不透明な部分がつきまとい、いつ払拭されるかが今後の対応の鍵となる。経済政策については、米国第一主義への弊害が明らかとなり、保護貿易に対する世界からの反発を受けることによって、党や議会との対話を進める中で、より現実的なものに落ち着いていくだろう。企業経営者としては、米国の政策動向をしっかりと見極めた上で、迅速な対応を講じていくことが求められる。トランプ大統領が今後どのような国家観と世界観のもと政権運営をするのか、注目していきたい。

また、英国のEU完全離脱に続き、トランプ大統領が公約通りTPP離脱を表明されたことは、予想していたとはいえ、残念だ。トランプ政権が進めようとしている二国間貿易協定の方が、日本にとって厳しいものになると予想される。TPPはアベノミクスによる成長戦略の柱であり、今後、関係各国がどのように舵を切るかが焦点となるが、日本企業がグローバル社会のもとで活発な事業を展開できるよう、日本政府は各国と連携し、自由貿易拡大への主導的な役割を果たしていただきたい。

以 上

平成29年 1月23日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄